



25 福スポ少第24号
平成25年4月17日

各市町村スポーツ少年団本部長 様

公益財団法人福島県体育協会
福島県スポーツ少年団
本部長 星 本文



平成25年度日本スポーツ少年団シニア・リーダースクール
の開催について（通知）

このことについて、別紙開催要項に基づき実施いたします。

つきましては、下記のとおり参加者をご推薦くださるようお願いいたします。

なお、推薦に際しては、参加条件を満たしていることに加えて、リーダーとしての資質・
教養、さらには、研修後の福島県スポーツ少年団リーダー会活動への協力や積極的なスポ
ーツ少年団活動への活動意欲等も含めて十分考慮の上、推薦願います。

記

- 1 申込期限 平成25年5月31日（金）
- 2 提出書類 様式1、2、3
※ 様式2、3は参加希望者自身が記入すること。
- 3 申込先 福島県スポーツ少年団
- 4 経 費
 - （1）参加料15,750円は、県本部が負担します。
 - （2）宿泊費・教材費は、日本スポーツ少年団が負担します。
 - （3）交通費は、日本スポーツ少年団が旅費規程に基づき補助します。
- 5 その他
 - （1）講師・運営補助者の推薦がありましたら関係書類を送付しますので、連絡願います。
 - （2）福島銀行「2013年プロ野球パ・リーグ公式戦」ナイター開催の案内がありましたの
で、所属単位団への周知にご協力をお願いします。パンフレットを同封しますので、
お問い合わせは福島銀行 電話0120-76-2940までお願いします。

事務担当 公益財団法人福島県体育協会スポーツ少年団係
TEL024(624)3833 FAX024(521)7971

東日本大震災復興支援 「とどけよう スポーツの力を東北へ！」
平成 25 年度日本スポーツ少年団シニア・リーダースクール開催要項

1. 主 催 公益財団法人日本体育協会 日本スポーツ少年団

2. 後 援 文部科学省（予定）

3. 期 日 平成 25 年 8 月 8 日(木)～12 日(月) (4 泊 5 日)

4. 会 場 国立中央青少年交流の家
静岡県御殿場市中畑 2092-5

*会場への課題・荷物の送付および電話連絡は一切禁止する

5. 参加条件

スポーツ少年団登録団員で下記（１）～（４）の参加条件すべてに該当し、かつ
各都道府県スポーツ少年団本部長の推薦する者

- (1) 平成 25 年度団員登録を行い、義務教育を修了した 20 歳未満の者(平成 25 年 4 月 1 日現在)
- (2) ジュニア・リーダー認定資格を有する者又はリーダー制度に定める活動単位により参加資格を認められた者
- (3) 全プログラムに参加できる健康状態および体力・運動能力を有する者
(体力的には少なくとも運動適性テスト 3 級程度の能力を有する者が望ましい)
- (4) 集団生活における規律を守ることができる者

6. 参加者 200 名

各都道府県スポーツ少年団の参加枠は別紙一覧による。なお、全国で 200 名に満たない場合、各都道府県スポーツ少年団は割当人数を超えて参加者を推薦することができる。

7. 研修内容

日本スポーツ少年団リーダー制度に定められた養成内容に基づき研修を実施する。

- (1) 講義
- (2) グループディスカッション
- (3) 実習
- (4) 自主プログラムによる研修
- (5) 通信研修
- (6) その他

8. 経 費

- (1) 参加料：1 名 15,750 円(税込)
- (2) 交通費については本会が定める旅費規程に基づき補助をする。
なお、支給方法は所属都道府県スポーツ少年団の指定銀行への口座振込とする。
- (3) 合宿研修に伴う宿泊費(食事代を含む)および研修に必要な教材は、日本スポーツ少年団が負担又は用意する。

9. 参加申し込み

都道府県スポーツ少年団は参加者を取りまとめ、別紙申込書＜様式 1＞に個人申込書＜様式 2＞および事前課題レポート＜様式 3＞を添えて下記により申し込むこと。

- (1) 申込先 〒150-8050 東京都渋谷区神南 1-1-1 岸記念体育会館内
公益財団法人日本体育協会 日本スポーツ少年団
- (2) 申込期限 平成 25 年 6 月 7 日(金)消印有効
- (3) 参加料

日本スポーツ少年団からの参加者決定通知受理後、15,750 円(税込)×人数分を都道府県スポーツ少年団が取りまとめの上、一括して下記口座へ納入すること。

振込先	三菱東京 UFJ 銀行 渋谷支店
	普通預金 No.2295932
	口座名:公益財団法人日本体育協会

10. 評価・認定について

全過程修了者は日本スポーツ少年団リーダー制度に基づき、シニア・リーダーとして認定を行う。なお修了の評価は、スクーリング期間中の活動と通信研修のそれぞれを対象に、日本スポーツ少年団リーダー養成ワーキンググループにおいて行い、日本スポーツ少年団指導育成部会にて認定の可否を判断する。

11. 傷害保険

スクーリング期間中は、日本体育協会が参加者全員を被保険者として傷害保険に加入する。

12. その他

- (1) スクーリング会場での前泊申込みについては、都道府県スポーツ少年団で取りまとめ、一括して日本スポーツ少年団に申し込むこと。
- (2) 参加者は、開校式の 10 分前までに受付を済ませること。また、最終日は閉校式終了後、12 時過ぎの解散となる。
解散前に会場を離れなければならない電車・飛行機等を手配しないこと。
- (3) 研修期間中、参加者は全活動に参加し、早退ほか自由行動は一切認められない。
- (4) スクーリング日程等詳細については、追って日本スポーツ少年団より参加者に連絡する。

平成25年度日本スポーツ少年団シニアリーダースクール 日程表

8/8 (木)	8/9 (金)	8/10 (土)	8/11 (日)	8/12 (月)	
6:00	起床・清掃(宿泊施設)	起床・清掃(宿泊施設)	起床・清掃(宿泊施設)	起床・清掃(宿泊施設)	6:00
7:00	6:30 清掃(研修施設)(20分) 係別MTG(10分)	清掃(研修施設)(20分) 係別MTG(10分)	清掃(研修施設)(20分) 係別MTG(10分)	清掃(研修施設)(20分) 係別MTG(10分)	
8:00	7:30 朝のつどい 朝食	朝のつどい 朝食	朝のつどい 朝食	朝のつどい 朝食	7:30
9:00	8:30 講義③「活動時の安全管理」 テキスト編・実践編(各40分) 講義④「活動プログラムの計画」 テキスト編・実践編(各40分)	スポーツ指導実践② 「指導案作成②」 「指導実践リハーサル」	スポーツ指導実践③ 「スポーツ指導実践」	退出口検	8:30
10:00	休憩10分			班別活動④ 「班別活動の総括」	9:30
11:00	受付			全体会	11:00
12:00	昼食(11:30～12:30)			閉校式	12:00
13:00	開校式・オリエンテーション(12:20～) 講義①「スポーツ少年団の歴史とスポーツリーダー」	スポーツ指導実践① 「指導案作成①」	昼食(13:00～14:00)		
14:00	「団の組織とリーダー・指導者の役割」(30分) 講義②「少年期の発達発達」 生理編・心理編(各40分) 休憩10分	班別活動① 「テーマディスカッション」 「面接」	講義⑤「国際交流」(30分)		
15:00	「グループワークトレーニング」(30分)	班別活動②(14:30～) 「テーマディスカッション」	スポーツ指導実践④ 「スポーツ指導実践の振り返り・評価」		
16:00	実習① 「グループワークトレーニング」 「個人目標の設定」	実習② 「班別対抗スポーツ活動①」			
17:00	係別活動 「役割・業務確認」	実習③ 「運動適性テスト②」 「班別対抗スポーツ活動②」	班別活動③ 「テーマディスカッション」		
18:00	夕食 (ブロック別にて夕食)	夕食	夕食	夕食	
19:00	自主活動、「面接」	自主活動	運動適性テスト(再テスト) 自主活動(レクリエーション)		
20:00	入浴	入浴	入浴		
21:00	就寝準備	就寝準備	就寝準備		
22:00	消灯	消灯	消灯	消灯	
23:00					

日本スポーツ少年団リーダー制度 2 項(2)に定める活動単位

日本スポーツ少年団リーダー制度 2 項(2)に記載の活動単位について、以下のように定める。

1. 活動単位数

- | | |
|---|-------|
| (1) 全国スポーツ少年大会参加 | 5 単位 |
| (2) 全国スポーツ少年団リーダー連絡会参加 | 5 単位 |
| (3) ブロックスポーツ少年大会参加 | 5 単位 |
| (4) ブロックリーダー研究大会参加 | 5 単位 |
| (5) スポーツ少年大会（全国・ブロック・都道府県）および、競技別
交流大会（全国・ブロック・都道府県）への運営係員としての参加 | 5 単位 |
| (6) 市区町村リーダー会役員経験年数 1 年以上 | 5 単位 |
| (7) 都道府県リーダー会役員経験年数 1 年以上 | 10 単位 |
| (8) ジュニア・リーダースクールへの運営係員としての参加 | 10 単位 |
| (9) 日独スポーツ少年団同時交流（派遣）へ団員として参加 | 10 単位 |

2. 単位取得条件

- (1) 当該事業終了時に単位を取得するものとする。
- (2) 同一項目であっても複数年度に渡り該当する場合は、それぞれの年度ごとに活動単位を認める。

3. 必要単位数

上記活動単位の内、10 単位以上取得した者に対し、シニア・リーダースクール参加資格を認める。

平成 22 年 4 月 1 日制定

平成25年度日本スポーツ少年団シニア・リーダースクール参加申込書
(個人提出用)

都道府県	都・道・府・県			写真貼付 上半身正面脱帽 縦4cm×横3cm
(フリガナ) 氏名	(男・女)			
生年月日	西暦	年	月 日 生	
	2013年4月1日現在 満 歳			
(フリガナ) 現住所	〒 ()			
	(電話番号 ()) (携帯番号 ())			
学校・勤務先	・() 第()学年 在学中・卒業 ・()に勤務中 学校部活動への加入状況 加入している場合 ()部・加入していない			
所属単位団	・()市・区・町・村 ()スポーツ少年団 ・団登録番号 () ・主な活動種目()()()			
活動歴	・平成()年()月 スポーツ少年団に入団、団活動()年目 ・平成()年度ジュニア・リーダースクール修了/認定番号(J) ※ジュニア・リーダー資格を保有していない場合は、必ず記入すること(10単位以上必要)			
	参加年度	参加事業名・役割	単位数	合計単位数
				単位
	・リーダー会での活動状況 ※活動している場合のみ記入すること 市区町村リーダー会 所属先() 活動年数(年目) 役職() 都道府県リーダー会 所属先() 活動年数(年目) 役職() ・日独同時交流参加の有無 有・無 参加年度()年			
運動適性テスト	()級・参考【新体力テスト総合評価()】※A～E評価】※3級程度を有する者が望ましい			
スポーツ 趣味	好きなスポーツ() 趣味 ()			
指導者推薦欄	※必ず指導者にあなたの推薦コメントを記入してもらうこと (指導者名 所属)			

※参加者の個人情報参加者への案内・資料の送付・参加者名簿作成・登録システムを目的に使用させていただきます。
またこの個人情報は、本事業主催団体である公益財団法人日本体育協会及び都道府県体育協会が情報を共有し参加者の同意なしに、第三者に開示・提供することはありません(法令などにより開示を求められた場合を除く)。

＜様式 3＞

都道府県名 _____ 氏名 _____

※自筆にて、記入欄のすべての行を埋めること。

【課題①】今まであなたがスポーツ少年団のリーダーとして活動してきた具体的な内容について、詳しく説明してください。また、そのリーダー活動を続ける上で抱えている問題について述べなさい。

●リーダー活動の具体的な内容

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

45

46

47

48

49

50

51

52

53

54

55

56

57

58

59

60

61

62

63

64

65

66

67

68

69

70

71

72

73

74

75

76

77

78

79

80

81

82

83

84

85

86

87

88

89

90

91

92

93

94

95

96

97

98

99

100

101

102

103

104

105

106

107

108

109

110

111

112

113

114

115

116

117

118

119

120

121

122

123

124

125

126

127

128

129

130

131

132

133

134

135

136

137

138

139

140

141

142

143

144

145

146

147

148

149

150

151

152

153

154

155

156

157

158

159

160

161

162

163

164

165

166

167

168

169

170

171

172

173

174

175

176

177

178

179

180

181

182

183

184

185

186

187

188

189

190

191

192

193

194

195

196

197

198

199

200

201

202

203

204

205

206

207

208

209

210

211

212

213

214

215

216

217

218

219

220

221

222

223

224

225

226

227

228

229

230

231

232

233

234

235

236

237

238

239

240

241

242

243

244

245

246

247

248

249

250

251

252

253

254

255

256

257

258

259

260

261

262

263

264

265

266

267

268

269

270

271

272

273

274

275

276

277

278

279

280

281

282

283

284

285

286

287

288

289

290

291

292

293

294

295

296

297

298

299

300

301

302

303

304

305

306

307

308

309

310

311

312

313

314

315

316

317

318

319

320

321

322

323

324

325

326

327

328

329

330

331

332

333

334

335

336

337

338

339

340

341

342

343

344

345

346

347

348

349

350

351

352

353

354

355

356

357

358

359

360

361

362

363

364

365

366

367

368

369

370

371

372

373

374

375

376

377

378

379

380

381

382

383

384

385

386

387

388

389

390

391

392

393

394

395

396

397

398

399

400

401

402

403

404

405

406

407

408

409

410

411

412

413

414

415

416

417

418

419

420

421

422

423

424

425

426

427

428

429

430

431

432

433

434

435

436

437

438

439

440

441

442

443

444

445

446

447

448

449

450

451

452

453

454

455

456

457

458

459

460

461

462

463

464

465

466

467

468

469

470

471

472

473

474

475

476

477

478

479

480

481

482

483

484

485

486

487

488

489

490

491

492

493

494

495

496

497

498

499

500

501

502

503

504

505

506

507

508

509

510

511

512

513

514

515

516

517

518

519

520

521

522

523

524

525

52

●抱えている問題

[illegible]

【課題②】シニア・リーダースクールへの参加志望動機について述べなさい。また、スクーリングに参加してどのような知識や技術を身に付けたいか、それを単位団やリーダー会活動において、どのような形で活かしていくのかを述べなさい。

●參加志望動機

[illegible]

●身に付けたい知識や技術。またそれを単位団やリーダー会活動で、どのような形で活かしていくか

[illegible]

日本スポーツ少年団シニア・リーダースクール 概要

日本スポーツ少年団では、スポーツ少年団リーダーを組織的に整備し、リーダーとしての役割の理解や資質の向上をはかり、将来のスポーツ少年団指導者を育成するために「日本スポーツ少年団リーダー制度」を定め、単位団指導者や都道府県・市区町村スポーツ少年団と連携してジュニア・リーダー、シニア・リーダーを養成しています。

1. シニア・リーダースクールの目的

シニア・リーダースクールは、日本スポーツ少年団が、シニア・リーダーの資格を認定するために開設しているもので、中学校を卒業した15歳から20歳未満のスポーツ少年団員（リーダー）を対象として、全国からの参加者が一堂に会して4泊5日のスクーリング（宿泊研修）を行うものです。このスクーリングとその後に課せられる通信研修の評価をあわせて、シニア・リーダーの資質に到達しているかどうかを判定し、合格したリーダーに対して、シニア・リーダー資格の認定を行っています。

そのため、シニア・リーダースクールは、「スポーツ少年団の単位団やリーダー会の活動において模範となって活動できる知識や技能を習得させる」という使命があります。その使命を達成するために、次のような2つの目的を掲げています。

1) シニア・リーダーとしての個々の資質と技能を向上させる

スポーツ少年団のシニア・リーダーとして求められる最低限の知識と技能を習得させる

2) 指導者に向けた継続活動を視野にいれ、自らのリーダー活動を振り返り、今後のリーダー活動の改善点を明らかにする

参加者の個別課題に対応し、班活動やグループワークを通じた気づきを重視する

2. スクーリングの内容

スクーリングでは、上記の2つの目的を達成するための課題を設定し、それを達成するために学習活動、グループ活動、スポーツ指導実践などを通じて、参加したリーダー一人ひとりの知識や技能を高めることができるようにプログラムを設定しています。

【学習活動】 全体講義(理念と歴史、組織と役割、活動計画、安全管理、発育発達、国際交流)、実習

【グループ活動】 班別活動、係別活動、テーマディスカッション、早朝活動、集団宿泊生活

【スポーツ指導実践】 小学生の団員を対象としたスポーツ活動の企画運営評価

3. 通信研修および期間について

スクーリング終了後、11月までを通信研修期間とし、スクーリングでの班の課題や自分の課題を団活動の中でどのように解決していくかという実際の取り組み期間とします。

4. シニア・リーダーの認定について

スクーリングおよび通信研修が修了したリーダーは、日本スポーツ少年団が「日本スポーツ少年団シニア・リーダー」として認定し、平成26年3月に認定証と認定品を交付します。

(平成24年度までのシニア・リーダー認定者数は、8,327名)

**平成 25 年度日本スポーツ少年団シニア・リーダースクール
事前課題レポート作成要項**

シニア・リーダースクールでは、参加者に現在のスポーツ少年団活動に対して問題意識を持って参加して欲しいことから、事前課題レポートを課しています。

事前課題レポートでは、あなたのスポーツ少年団活動の現状分析、問題点の明確化、スクーリング後の活動計画などを通じてスクーリングへ向けた事前準備をしていただきます。

下記の内容により、レポートを作成し、参加申込書と共に提出してください。

なお、参加申込書と事前課題レポートの両方が揃っていない場合、申し込みできませんので、ご注意ください。

事前課題レポートテーマ

【課題①】今まであなたがスポーツ少年団のリーダーとして活動してきた具体的な内容について、詳しく説明してください。また、そのリーダー活動を続ける上で抱えている問題について述べなさい。

【課題②】シニア・リーダースクールへの参加志望動機について述べなさい。また、スクーリングに参加してどのような知識や技術を身に付けたいか、それを単位団やリーダー会活動において、どのような形で活かしていくのかを述べなさい。

*作成にあたっては別紙「シニア・リーダースクール概要」を参照すること。

<作成上の注意事項>

- ・指定された様式を使用してください。(コピー可)
- ・申込者の自筆にてボールペン等を使用して作成してください(鉛筆、シャープペンシル、消せるボールペン等消しゴムで消えるものは不可)。
- ・以下の条件を満たしていない場合は再提出もしくは参加を認めないことがありますので、指導者と相談の上、しっかり取り組んでください。
 - ①課題に沿った内容で記述すること。
 - ②記述欄すべての行を埋めること。

<提出方法>

提出方法および期限については、所属する都道府県スポーツ少年団の指示に従ってください。

<その他>

- ・事前課題指導案作成については、参加決定通知時にお知らせします。